

令和4年9月27日

横浜市長
山中 竹春 様

横浜市下水道事業経営研究会
包括的管理委託検討部会

部会長	長岡 裕
委員	伊集 守直
委員	加藤 裕之
委員	池田 陽子
委員	鈴木 智子

北部汚泥資源化センター包括的管理委託における
落札候補者の選定結果について

標記について、横浜市下水道事業経営研究会包括的管理委託検討部会におきまして別紙のとおり審査を行いましたので、その結果を報告いたします。

1 本事業の概要

環境創造局北部汚泥資源化センターでは、現在、「包括的管理委託」（平成 29 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日）を実施していますが、令和 5 年度から 6 年間の「包括的管理委託」の更新にあたり総合評価を行い、落札候補者を決定する。

(1) 件名

北部汚泥資源化センター包括的管理委託

(2) 履行場所

北部汚泥資源化センターほか 4 か所

(3) 履行期間

令和 5 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日まで（6 年間）

ただし、次の期間を業務準備期間とする。

令和 5 年 1 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

なお、業務準備期間の経費は落札者の負担とする。

2 審査方法等

(1) 事業者選定の方法

価格だけではなくその他の条件（公共施設等の機能性、公共サービスの水準等）も加味し、総合的に勘案して落札者を決定するため、「総合評価一般競争入札方式」による事業者選定を行った。総合評価一般競争入札とは地方自治法施行令第 167 条の 10 の 2 に規定された契約方式である。

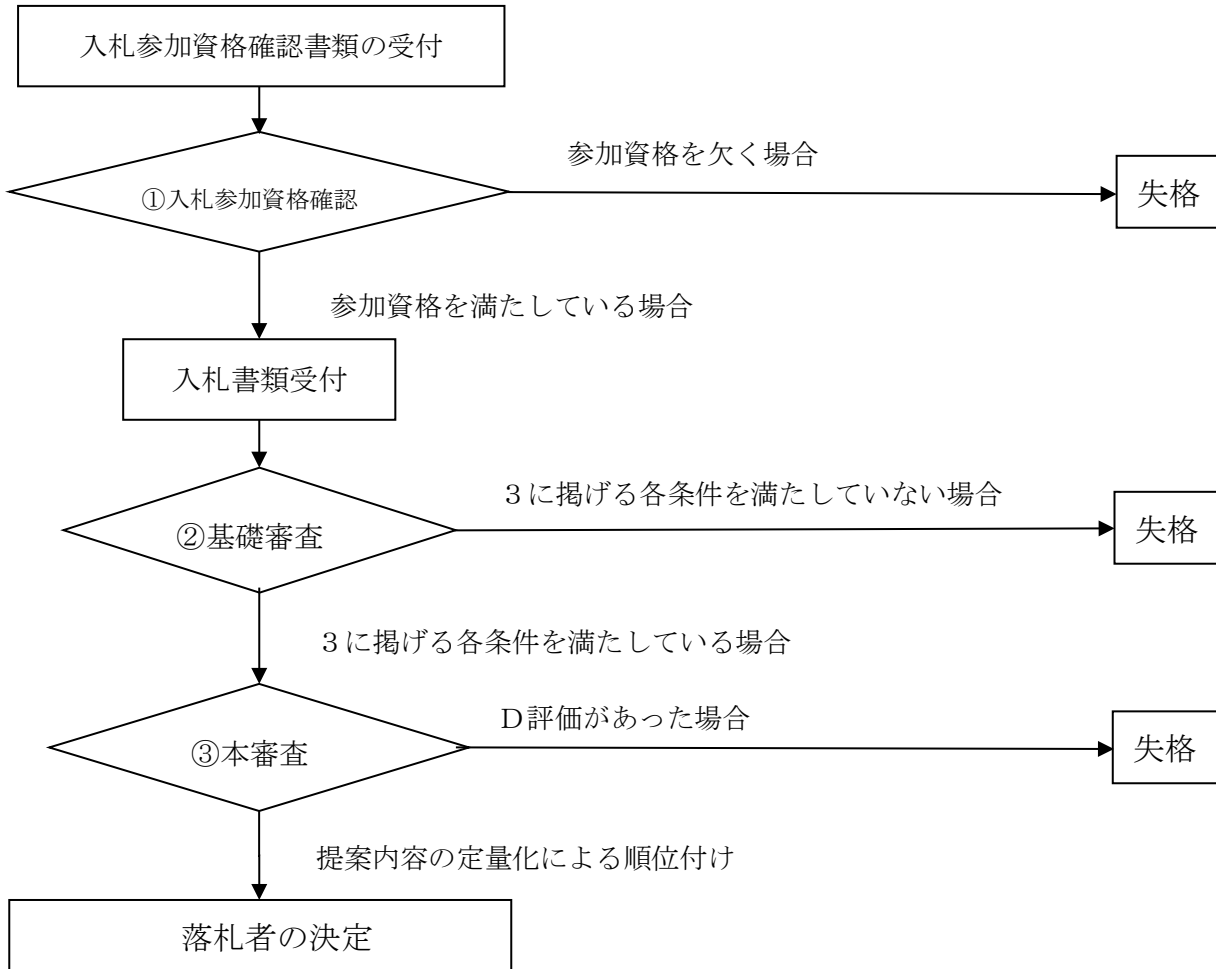
(2) 検討部会

次期契約を履行するにふさわしい業者について総合評価による審議をするため、「横浜市下水道事業経営研究会運営要綱」第 6 条に基づき「包括的管理委託検討部会」を設置した。検討部会を構成する委員は、次のとおりである。（敬称略）

部会長	長岡 裕	東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科 教授
委員	伊集 守直	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 教授
委員	加藤 裕之	東京大学大学院工学系研究科 特任准教授
委員	池田 陽子	明大昭平・法律事務所 弁護士
委員	鈴木 智子	鈴木智子公認会計士事務所 公認会計士・税理士

(3) 落札者の決定の基本的考え方

落札者の決定の基本的な考え方は、次のとおりである。



(4) 提案評価

業務提案に関する評価点は、アに示す評価項目ごとに、イに示す点数化方法によって評価を行い、その合計点として算出する。ここで、一項目でもD評価があった参加者は失格とする。

ア 評価項目

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
実施方針	汚泥資源化センターの特性や市における本事業の位置づけを十分に理解しているか。	①本事業に対する理解度・安定処理と有効利用	50	業務全般に共通する理念や対応方針について (SDGs への考え方等)	業務を推進するにあたっての理念や対応方針における SDGs 等の社会的な課題への理解
				受送泥スケジュールを含めた汚泥処理の安定化	汚泥資源化センターの特性を踏まえた、運転・維持管理における安定化の方針
				焼却灰の資源化と埋立処分や消化ガスの有効利用への理解	焼却灰や消化ガス等の資源の一層の有効利用についての考え方
				受送泥、濃縮、消化、脱水、焼却の一連の履行実績に基づいた技術的総合管理能力の高さ	本事業に必要となる要員毎の能力についての考え方や、受送泥から焼却までの一連の業務を含めた、本施設の管理に資する会社としての業務実績
業務実施体制	安定・継続的な運転管理を行う体制となっているか。 セルフモニタリングは機能するか。	②人員配置	45	従業員の労働環境・健康面への配慮	従業員の労働環境及び健康の確保に資する具体的な取組み (ライフスタイルの変化を踏まえた働き方等)
				研修・教育の実施方針・実施体制	従業員の研修・教育の内容と具体的実施方法
				男女共同参画社会への貢献	男女共同参画社会の実現に向けた具体的な取組み
				具体的な業務に応じた適正な人員配置	具体的な業務に応じた人員配置計画とその考え方、想定される様々な事象に対応できる体制・技術力
		有資格者の配置状況	有資格者の配置計画とその特徴		
		③マネジメント	70	センター全体の総括管理、運営管理業務体制	PDCA を含む管理の体制や具体的実施方法
				会社全体のバックアップ体制、人員体制の継続性	施設の安定的な稼働を継続させるための会社全体のバックアップの考え方、従業員の安定的な確保や欠員補充への対応
セルフモニタリングによる事業改善	事業の質を向上させるためのセルフモニタリングの実施内容				

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
				引継ぎ時の協力体制	前受託者からの引継ぎ及び次受託者への引継ぎの両方を円滑に行うための考え方、体制等
運転管理計画	運転管理方法は妥当なものか。	④ 運転計画・薬品調達等	75	施設全体の運転、処理状況の把握と管理	施設全体の状況把握と管理を最適化するための運転管理計画の考え方
				市の整備計画との整合性	市の整備計画を踏まえた運転管理計画の作成方針
				年間を通じた安定稼働、効率運転に向けた計画	天候や季節による変動を前提とした安定化、及び定期点検や運営管理業務を踏まえた効率化のための運転計画の考え方
				施設の低炭素化に資する効率的な運転方法について	日常の施設運転における低炭素化に向けた工夫（機器の稼働や薬品使用の最適化等）
		適正な調達管理、選定基準の考え方、環境に配慮した薬品等の調達・選定	薬品やその他の物品の購入と備蓄のバランスの考え方、高品質かつ環境配慮型の薬品等の調達・選定を行うための工夫		
		⑤水質等管理	45	返流水質や排ガスの基準遵守に向けた具体的な取組み	返流水質や消化ガス、排ガス、汚泥等に係る基準値の遵守に対する工夫
流入水質変動や各種トラブルに伴い分離液処理が悪化した際における適切かつ迅速な処理機能回復の考え方	分離液処理が悪化する要因の分析と、それらに対する具体的な機能回復の方法及び期待できる効果				
維持管理計画	維持管理の体制、実施基準、方法等は、施設の管理を委ねるのに適切か。	⑥ 定期点検・軽微な修繕	100	適正な日常点検と定期点検	施設の円滑な稼働のための日常点検・定期点検の具体的な実施内容と工夫
				予防保全の考え方	予防保全に関する維持管理基準の設定及びそれに伴う効果
				維持管理データの蓄積と活用（長寿命化計画や、整備計画への対応）	維持管理データの管理方法、及び本事業の維持管理や市側の計画策定時における提供や助言等、具体的な活用策
				ICTの活用（効率化、品質向上）	LAN等の情報通信設備における新技術の導入等、具体的な活用策や効率化（省人化・省力化等）への提案

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
				市との実施協議	軽微な修繕を含む維持管理業務実施時における市に対する報告や協議、連携等に対する具体的な考え方
				施設の長寿命化計画等における、低炭素化の観点からの市に対する協力	市が作成する長寿命化計画等の低炭素化に対する、受託者のノウハウに基づいた協力内容
				迅速かつ、適切な対応が可能な管理計画	軽微な修繕の実施体制や実施内容、突発的な事態への対応等、迅速な対応を可能とするための管理計画の考え方
				修繕先の選定方法、環境に配慮した機器の調達・選定について	外注が必要となる場合における外注先選定上の工夫、高品質かつ環境配慮型の機器の調達・選定を行うための工夫
リスク管理	施設の特性を踏まえたリスク項目を把握しているか。それに対する通常時の備え及び発生時の対応策は適切か。	⑦リスク項目に対する通常時の備え	55	災害、感染症、事故、故障等の施設の立地を踏まえた想定されるリスク及び当該リスクへの通常時の備え	施設の立地を踏まえた想定される各種リスク、及び当該リスクに確実に対応するための、定期訓練の実施等通常時の準備や体制に対する考え方
				会社としてのバックアップ体制	緊急時における会社としてのバックアップ体制に対する考え方
		緊急時のマニュアル整備	緊急時に備えたマニュアルの具体的な作成方針		
		⑧リスク項目発生時の対応策	55	上記の想定されるリスク発生時の具体的な対応策	想定されるリスクが実際に生じた際の応急処置及び市との連携方法に対する考え方
施設管理	安全、環境等に配慮した計画となっているか。	⑨安全、環境等への配慮	60	安全、防犯等への取組み	職員や見学者の事故を未然に防ぐための安全や防犯等に対する具体的な取組内容
				環境行動（地域貢献、場内美化、緑化）の取組みを通じた快適な施設の維持	地域に根差した事業として施設周辺の環境に貢献し、また施設利用者が快適に利用できる施設とするための具体的な取組内容
				消化ガスの有効活用やベルト濃縮機の稼働等を通じた省エネルギー、CO ₂ 削減等SDGsへの取組みに対する考え方	本事業における資源の有効利用やベルト濃縮機の積極的な稼働等を通じた、省エネルギーやCO ₂ 排出量の削減等、市のSDGsの目標達成に資する具体的な取組内容

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
独自提案	上記以外で優れた提案があるか。	⑩優れた提案	45	応募者の創意工夫による追加的な提案、地域活性化や、本事業に対する高度な提案	その他、市の政策目標を踏まえた、本事業や地域活性化等に資する有効な提案
合計			600		

イ 点数化方法

(ア) 独自提案以外

評価	評価の意味合い	点数化方法
A	当該評価項目において、特に優れている	(配点) × 1.0
B	当該評価項目において、優れている	(配点) × 0.75
C	当該評価項目において、最低限の水準である	(配点) × 0.5
D	当該評価項目において、最低限の水準を満たしていない	(配点) × 0.0

(イ) 独自提案

評価	評価の意味合い	点数化方法
A	具体的な提案があり、優れている	(配点) × 1.0
B	具体的な提案がある	(配点) × 0.75
C	提案がある	(配点) × 0.5
D	提案がない (※)	(配点) × 0.0

(※) 特記仕様に定められた条件に反する内容を含む場合は、提案がないとみなす。

3 落札候補者選定の経緯

落札候補者選定までの主な経緯は以下のとおりであった。

令和4年5月10日	入札公告
令和4年5月11日～5月31日	現場説明
令和4年6月21日	入札参加資格確認書類提出期限 提出者：JFE環境サービス株式会社
令和4年7月5日	入札参加資格確認結果の通知
令和4年7月26日	入札・開札（書類受付） 入札者：JFE環境サービス株式会社
令和4年8月23日	第7回検討部会（提案書評価作業）
令和4年9月27日	第8回検討部会（提案書評価作業）

4 応募状況

以下の1者から応募があった。

JFE環境サービス株式会社（審査では匿名とするため「ももいろ社」とした。）

5 審査結果

(1) 参加資格確認

入札説明書第4項に示す事項について確認した結果、入札参加資格を有していることを確認した。

(2) 基礎審査結果

落札者決定基準の第3項に基づき基礎審査を実施した結果、入札価格（72億3,600万円、消費税及び地方消費税相当額を含まない。）が予定価格（72億4,968万円、消費税及び地方消費税相当額を含まない。）を下回っていた。また、特記仕様書との不整合もなかった。

(3) 本審査結果

本審査は、加算方式による評価を行う。総合評価点は1,000点満点とし、価格に関する評価点を400点、業務提案に関する評価点を600点とした。

総合評価点（1,000点満点）＝価格に関する評価点（400点満点）＋業務提案に関する評価点（600点満点）

ア 価格審査結果

価格に関する評価点は次式のとおりに計算した。

$$\text{価格に関する評価点} = (\text{最低応札価格}) / (\text{応札価格}) \times 400$$

$400 \text{点} = 72 \text{億 } 3,600 \text{万円} / 72 \text{億 } 3,600 \text{万円} \times 400$

イ 提案書審査結果

審査委員5名による提案内容に関する審査を行った結果は以下のとおりである。

評価項目	小項目	配点	ももいろ社
実施方針	本事業に対する理解度・ 安定処理と有効利用	50	37.50
業務実施体制	人員配置	45	33.75
	マネジメント	70	52.50
運転管理計画	運転計画・薬品調達等	75	56.25
	水質等管理	45	33.75
維持管理計画	定期点検・軽微な修繕	100	75.00
リスク管理	リスク項目に対する通常時の備え	55	27.50
	リスク項目発生時の対応策	55	27.50
施設管理	安全、環境等への配慮	60	45.00
独自提案	優れた提案	45	33.75
合計		600	422.50

ウ 総合評価結果

価格審査、提案書審査を踏まえ、総合評価方式による本審査の結果は以下のとおりである。

審査項目	配点	ももいろ社
価格審査	400	400.00
提案評価	600	422.50
合計	1,000	822.50

エ 審査講評

評価項目	講 評
実施方針	業務全体の理念や方針、汚泥資源化センターの特徴について理解している。 また、安定処理や有効利用について適切な目標が立てられており、SDGsについても理念が理解されている。
業務実施体制	十分と考えられる人員体制を構築し、従業員の労働環境や研修教育、及び危機管理にも配慮した実施体制が提案されており、安定的な業務実施が期待できる。各種課題に対応するための組織体制を構築するなど、現場管理に配慮されたマネジメント体制が提案されている。
運転管理計画	各種データを活用した運転管理を提案しており、かつ施設の低炭素化にも配慮した効果的な提案がなされている。
維持管理計画	長寿命化・低炭素化への取組みや突発修繕への対応例など、現場に即した具体的な提案がなされており、効率的な維持管理が期待できる。
リスク管理	予防、被害抑制策、防災訓練及びバックアップ体制の構築等について一定の提案がなされている。一方で、リスク項目発生時の対応策について、一般的な提案に留まっている項目があるため、今後より具体的な検討を期待する。
施設管理	事故防止をはじめとする安全管理について具体的な提案がなされているほか、環境への配慮など市のSDGs 目標達成に資する提案がなされている。
独自提案	薬品の選定やデジタル技術などの新技術も活用し、本事業の価値向上に資する積極的な提案がなされている。

オ 落札候補者の決定

入札説明書に定める審査を実施し、ももいろ社【JFE環境サービス株式会社】を落札候補者として決定する。